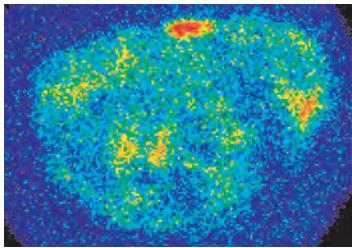


# バイオシグナリング研究室

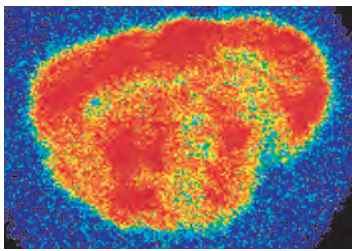
放射線は目に見えませんが、ヒトの体を通り抜ける性質があります。その能力を利用して、体内の機能を画像としてとらえ診断することができます。ロボットを応用した自動薬剤製造装置の開発から、合成薬剤の分析、脳の代謝に関する研究、新しいがん治療法まで、医学と工学を融合させて、実際の医療に直結するような研究を行っています。

スタッフ  
准教授 浅井竜哉

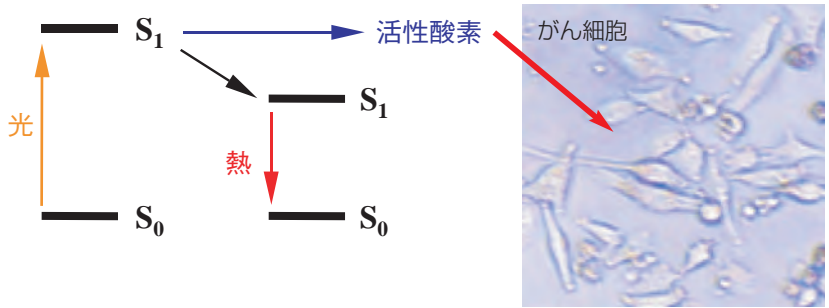
知能基礎講座



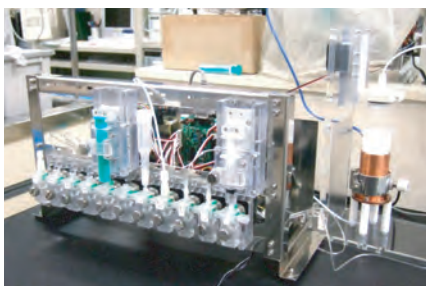
脳が活動



脳の代謝イメージング



新しい対がん光線力学療法の開発

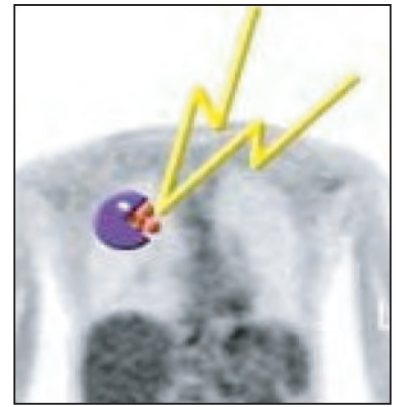


自動薬剤製造装置の開発

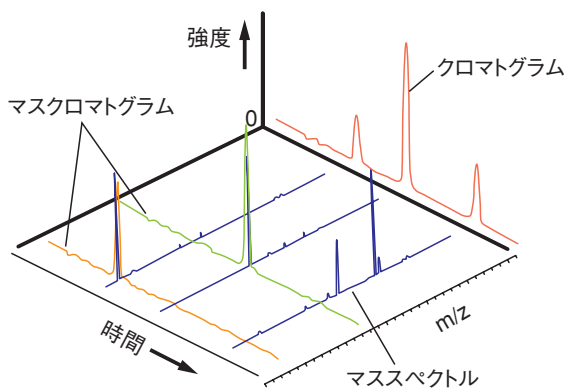
医療



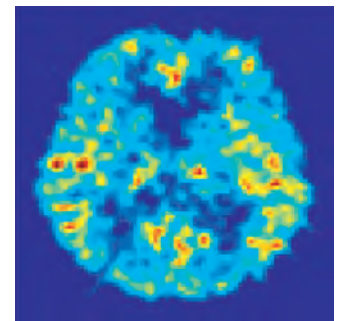
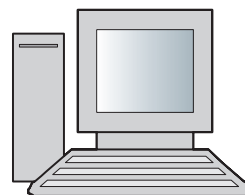
薬剤 体内へ



体内の機能画像



合成薬剤の分析



機能的医療画像データの解析